

考古学から学ぶ聖書の歴史と地理

特別講義 2018年4月よりスタート
(火曜日 15:30～17:00 全4回)

聖書考古学資料館（お茶の水クリスチャンセンター5F）の理事の先生方をお招きして、考古学から聖書の歴史と地理を学びます。

日程	内容	担当（プロフィール）
4/24	聖書のウル	松本任弘氏：元聖書宣教会神学舎教師 聖書考古学資料館理事
6/19	エラの谷の二つの遺丘と聖書_1 ～ユダの遺丘とヒルベト・カイヤファー	下村茂氏：聖書宣教会神学舎卒、巡回牧師 聖書考古学資料館理事
6/26	エラの谷の二つの遺丘と聖書_2 ～ペリシテの遺丘ガテ	
9/11	テル・ラキシユの発掘と聖書	中川信嗣氏：中央日本聖書学院卒、 福音伝道教団大泉キリスト教会牧師、 聖書考古学資料館理事

お茶の水クリスチャンセンター（901号室）〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル

- ・講義の進め方：コーディネーターの飯島勅師が進行を務めます
- ・受講料：1回 2,000円
- ・対象：一般信徒、教会役員、牧師、伝道師、教派・団体実務担当者および役員
- ・その他：学院生で、聖書地理歴史（前期全15回）の講座に登録され（飯島勅師担当分全11回）に引き続いて受講された方には、2単位が認められます。
- ・申込用紙：裏面（FAX:03-3296-4641, TEL:03-3296-1005, email: office@obi-net.com）
- ・定員になり次第、締め切りにいたします。



左 コーディネーター飯島勅師：聖書考古学資料館理事、日本バプテスト教会連合拜島バプテスト教会協力牧師、お茶の水聖書学院講師（「聖書の地理歴史」担当）

神のことばである聖書のことばは、たとえば神秘的に、天から降り地から湧いてきたのではなく、必ず、ある時代にある場所において、そこに生きる人間を通して与えられ記されました。

そこで、私たちはそれを逆にたどるとき、すなわち歴史と地理と人の生活（文化）を知るときに、神のことばの理解に近づくことができます。考古学は、その歴史と地理と文化を知る上で光を与えてくれます。